

## 令和2年度 ショートステイ 目標に対する評価

**目標 1** ご利用者・ご家族からの要望や家庭の環境等を職員間で伝達・共有し統一したケアを行うことで、安心して利用できるショートステイを目指す。

### 評価

①送迎時に介護職も同伴することで家庭内の環境知ることができた。また、ご家族とも直接お話しすることで要望を聞くことや、ショートステイご利用中の様子、ご自宅で生活を送る際のアドバイス等を伝えることができた。

**目標 2** 在宅での生活を一日でも長く継続できるように、日頃の生活の中にリハビリを兼ねた体操やレクリエーションを取り入れることでADLの維持に努める。

### 評価

- ①タブレットを活用し、体操動画などをご利用者と一緒にすることができた。動画を活用することで、レクリエーションが苦手な職員でも行うことができた。
- ②自身で出来る範囲はなるべく自身の力を活用して頂くことで残存機能の維持に努めた。また、単に一斉に同じことを行うのではなく個別に実施（塗り絵や皿洗い・台拭き等）することができた。

**目標 3** 接遇スキルを一人一人が理解することで笑顔が絶えない環境をつくりご利用者に「また行きたい」と言って頂けるようにする。また、居心地のよい時間を過ごせるショートステイを目指す。

- ①何気ない会話の中でもご本人の興味のあること（過去の生活の様子等）を取り入れることで会話の幅を広げることができた。
- ②言葉遣いに関して、業務で忙しく心の余裕がなかった場合等に強めの言葉がでることがあった。業務の見直しや、ご利用者一人一人がお客様であるということ再認識し改善に努める。